日産

トランスフォーム™ フロアブル

Isoclast™active

園芸用殺虫剤

野菜の吸汁性害虫防除に、
唯一のスルホキシイミン系殺虫剤。

アブラムシ類、カイガラムシ類、コナジラミ類に
優れた殺虫効果を発揮！
吸汁性害虫防除のスペシャリストが、
速効力と持続力で、作物づくりをサポートします。

●ねぎに適用拡大！

※やまのいも、ばれいしょのみ

■ストレッチ症状
（ワタアブラムシ・タバココナジラミ）
2次元コード：動画でもご覧いただけます。

野菜の大切な実りを守りぬく！
吸汁性害虫防除のスペシャリスト！

日産化学株式会社

TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

■農林水産省登録：第24017号　■有効成分：スルホキサフロル…9.5%　■性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

殺虫剤分類 4C　野菜版

■トランスフォームフロアブルの特長

唯一の「スルホキシイミン系」殺虫剤です。
現在の知見において、既存のどの系統の殺虫剤とも交差抵抗性は認められていません。

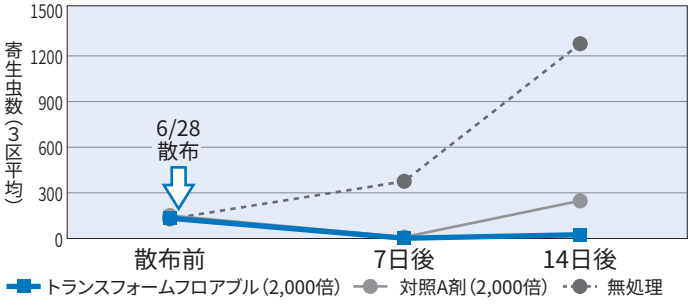
- 浸透移行性と浸達性があり、残効性に優れます。
- 速効性に優れます。

アブラムシ類、コナジラミ類に安定した効果を示します。
タバココナジラミ・バイオタイプQの発生密度が高い場合には、「1000倍」でのご使用をおすすめします。

- スワルスキーカブリダニ等、捕食性カブリダニ類への影響は少なく、IPMにも活用できます。
- マルハナバチは散布2～5日後に放飼できます（日数×24時間間隔を空けて放飼）。

■キャベツ/アブラムシ類（モモアカアブラムシ優占）

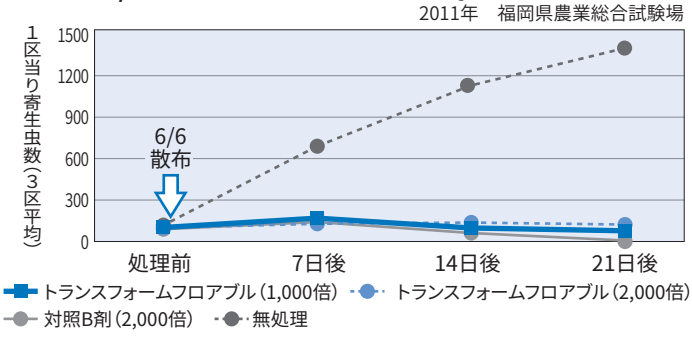
2011年　岩手県農業研究センター



【試験概要】 ●発生状況：中発生（モモアカアブラムシ優占、一部ニセダイコンアブラムシ）●品種：YR青春（定植：5月31日） ●区制：1区12株×3反復 ●処理方法：6月28日に肩掛式噴霧器で散布（240ℓ/10a、展着剤加用） ◆調査方法：1区12株について見取りにより有翅および無翅の寄生虫数を調査（グラフは有翅虫と無翅虫の合計）

■きゅうり/タバココナジラミ（バイオタイプQ）

2011年　福岡県農業総合試験場



【試験概要】 ●発生状況：多発生（処理5日前に株当り成虫約20頭を放飼） ●品種：ちなつ（定植：5月27日） ●区制：1区8株×3反復 ●処理方法：6月6日（草丈50cm）に蓄圧式噴霧器で散布（展着剤不加用） ◆調査方法：各区全株の中～下位の3葉に寄生する成虫および幼虫の寄生虫数を調査（グラフは成虫と幼虫の合計）

■トランスフォームフロアブルの適用害虫と使用方法（野菜・きく・つつじ類のみ抜粋）

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	10アール当り使用液量	使用時期	本剤およびスルホキサフロルを含む農薬の総使用回数	使用方法
ばれいしょ	アブラムシ類	2,000	100～300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散布
		32	3.2ℓ			無人航空機による散布
ごぼう		2,000	100～300ℓ	収穫3日前まで		散布
やまのいも		32	3.2ℓ			無人航空機による散布
ねぎ	ネギアザミウマ、アブラムシ類	1,000～2,000	100～300ℓ	収穫前日まで		散布
キャベツ	アブラムシ類、ネギアザミウマ	2,000				
だいこん、レタス、非結球レタス、非結球あぶらな科葉菜類、ブロッコリー、未成熟とうもろこし	アブラムシ類					
はくさい				収穫3日前まで		
ほうれんそう、食用ぎく					2回以内	
しそ				収穫前日まで		
きゅうり、なす、ピーマン						
	コナジラミ類	1,000～2,000				
すいか、メロン、いちご	アブラムシ類	2,000			3回以内	
	コナジラミ類	1,000～2,000				
トマト、ミニトマト	アブラムシ類	2,000			2回以内	
	コナジラミ類、トマトサビダニ	1,000～2,000				
みょうが（花穂）	アブラムシ類	2,000			3回以内	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。
きく				発生初期		散布
	アザミウマ類	1,000～2,000				
つつじ類	ツツジグンバイ	2,000				

■使用上の注意事項

●使用前に容器をよく振ってから使用してください。
●本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
・散布は各散布機種の散布基準にしたがって実施してください。
・散布機種に適合した散布装置を使用してください。
・散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
・散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
・受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
・関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
●散布器具及び容器の洗浄水等は河川等に流さないでください。また、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
●間引き菜及びつまみ菜に使用しないでください。
●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
●直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は、ほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2025年7月現在の知見に基づき、作成されています。

日産化学株式会社
東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ https://www.nissan-agro.net/
お客様窓口 TEL.03-4463-8271（9:00～17:30 土日祝日除く）